



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月13日

上場会社名 株式会社 トレジャー・ファクトリー 上場取引所 東
コード番号 3093 URL <https://www.treasurefactory.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 野坂 英吾
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理統括 （氏名） 小林 英治 TEL 03-3880-8822
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第3四半期	35,198	15.3	3,346	12.2	3,414	13.4	2,247	14.7
2025年2月期第3四半期	30,515	22.7	2,982	20.5	3,011	20.0	1,958	22.3

（注）包括利益 2026年2月期第3四半期 2,289百万円（15.3％） 2025年2月期第3四半期 1,985百万円（20.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	95.87	—
2025年2月期第3四半期	83.58	83.57

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期第3四半期	24,582	11,940	47.9
2025年2月期	20,830	10,502	50.0

（参考）自己資本 2026年2月期第3四半期 11,785百万円 2025年2月期 10,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2026年2月期	—	19.00	—		
2026年2月期（予想）				20.00	39.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	46,252	9.6	4,420	9.5	4,441	8.8	3,008	11.0	128.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年2月期3Q	24,347,800株	2025年2月期	24,347,800株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	906,591株	2025年2月期	911,716株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年2月期3Q	23,438,918株	2025年2月期3Q	23,430,258株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会期方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかに回復いたしました。また、訪日外国人観光客の増加に伴うインバウンド需要の拡大も景気を下支えしました。一方で、継続する物価上昇が個人消費に及ぼす影響や、金融資本市場の変動、さらには海外における景気下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

リユース業界においては、社会全体でサステナブルな消費行動が定着していることに加え、物価高騰を背景とした中古品への需要増加が追い風となり、市場全体は引き続き拡大傾向にあります。

当社グループにおきましては、当第3四半期連結会計期間は、前期に続き堅調に推移し、9-11月の当第3四半期連結会計期間の営業利益は1,426百万円と、第3四半期連結会計期間としては過去最高の営業利益を達成しました。新店は直営店を28店、FC店を2店出店し、既存店売上も堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高35,198百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益3,346百万円（前年同期比12.2%増）、経常利益3,414百万円（前年同期比13.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,247百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（リユース事業）

連結売上が前年同期比15.4%増、単体既存店が同4.8%増となりました。カテゴリー別では、衣料は秋冬物需要の伸びを受けて前年同期比19.7%増となりました。電化製品は、各季節の需要を取り込み、前年同期比1.5%増となりました。ブランド品や腕時計などの服飾雑貨は前年同期比19.0%増、アウトドアやスポーツ用品が好調なホビ用品も同13.6%増と高い伸びとなりました。また、EC販売額は前年同期比22.9%増となりました。

仕入では、当期連結商品仕入高は前年同期比17.6%増となりました。買取チャネル別では、持込買取が同14.2%増（単体）と引き続き堅調に推移し、店舗以外の買取チャネルでは、宅配買取が同4.4%増（単体）、出張買取も同2.9%増（単体）と好調に推移しました。

出店は、当第3四半期連結累計期間においては、直営店を総合リユース業態11店、服飾専門リユース業態を9店、古着アウトレット業態2店、スポーツアウトドア専門リユース業態1店、ブランド専門リユース業態1店、楽器専門リユース業態1店、ブランド古着専門業態1店、ゴルフ専門リユース業態2店、計28店出店しました。FC店はブランド古着専門業態を2店出店しました。地域は、直営店で東北3店、関東15店、東海4店、関西2店、中国2店、九州2店となり、FC店で関西に2店の出店となりました。当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、グループ全体で直営店287店、FC店32店の合計319店となりました。

以上の結果から、売上高は34,289百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は4,832百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

（その他）

レンタル事業では、売上は前年同期比11.9%増となりました。

以上の結果から、売上高は1,299百万円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益は55百万円（前年同期比223.5%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金が241百万円増加、売掛金が786百万円増加、商品が1,746百万円増加、建物及び構築物（純額）が396百万円増加、のれんが11百万円増加、敷金及び保証金が280百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して3,751百万円増加し、24,582百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、短期借入金が1,703百万円増加、未払法人税等が400百万円減少、長期借入金が381百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して2,314百万円増加し、12,641百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,247百万円計上、配当金の支払いにより867百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して1,437百万円増加し、11,940百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年4月9日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,014	3,256
売掛金	1,391	2,178
商品	7,922	9,669
その他	946	1,048
流動資産合計	13,274	16,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,368	2,765
土地	426	426
その他（純額）	788	997
有形固定資産合計	3,584	4,189
無形固定資産		
のれん	313	325
その他	165	180
無形固定資産合計	479	505
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,654	2,935
その他	837	798
投資その他の資産合計	3,492	3,733
固定資産合計	7,555	8,429
資産合計	20,830	24,582

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	162	237
短期借入金	2,893	4,596
1年内返済予定の長期借入金	1,122	1,373
未払法人税等	895	495
契約負債	117	165
返金負債	50	60
賞与引当金	505	288
株主優待引当金	5	—
資産除去債務	20	6
その他	2,052	2,483
流動負債合計	7,826	9,706
固定負債		
長期借入金	1,606	1,987
資産除去債務	869	921
その他	25	25
固定負債合計	2,500	2,934
負債合計	10,327	12,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	906	906
資本剰余金	865	872
利益剰余金	9,209	10,589
自己株式	△585	△582
株主資本合計	10,396	11,786
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19	△0
その他の包括利益累計額合計	19	△0
非支配株主持分	86	154
純資産合計	10,502	11,940
負債純資産合計	20,830	24,582

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）
売上高	30,515	35,198
売上原価	12,188	14,164
売上総利益	18,326	21,034
販売費及び一般管理費	15,344	17,688
営業利益	2,982	3,346
営業外収益		
受取利息	1	5
為替差益	5	33
自販機収入	11	10
助成金収入	—	9
その他	31	48
営業外収益合計	50	107
営業外費用		
支払利息	19	37
その他	1	2
営業外費用合計	20	39
経常利益	3,011	3,414
特別利益		
受取補償金	—	75
特別利益合計	—	75
特別損失		
固定資産除却損	5	2
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益	3,005	3,487
法人税、住民税及び事業税	940	1,073
法人税等調整額	74	104
法人税等合計	1,014	1,178
四半期純利益	1,991	2,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,958	2,247

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）
四半期純利益	1,991	2,309
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6	△19
その他の包括利益合計	△6	△19
四半期包括利益	1,985	2,289
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,952	2,227
非支配株主に係る四半期包括利益	32	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」等の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号 2024年3月22日）を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当第3四半期連結会計期間においては、当該実務対応報告第7項の定めを適用しているため、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	531百万円	583百万円
のれんの償却額	35百万円	36百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	29,710	804	30,515	—	30,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	314	314	△314	—
計	29,710	1,119	30,829	△314	30,515
セグメント利益	4,420	17	4,438	△1,456	2,982

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	34,289	909	35,198	—	35,198
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	389	389	△389	—
計	34,289	1,299	35,588	△389	35,198
セグメント利益	4,832	55	4,887	△1,541	3,346

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「その他」に含まれるレンタル事業において、Empty Dressyを事業譲受したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において48百万円であります。